

# 研究紹介

健康 安全

## たくましく生きるための心と体を育む 健康・安全教育の推進と校長の役割

校長の戦略的な取組を通して

下松市立公集小学校長

明 末 礼 式



### 一 はじめに

今、子どもたちを取り巻く社会環境や生活環境等が大きく変化し、健康・安全教育を推進する上で、新たな課題が見えてきた。特に、食物アレルギー等の食に関する事項や豪雨・津波等の防災に関する事項については、喫緊の課題である。

そこで、下松市小学校長会では、校長の役割を明確にし、具体的な戦略を立てた取組を実践した。

### 二 研究の概要

(一) 学校保健に関する取組

(二) 食育の推進・学校給食に関する取組

(三) 学校安全に関する取組

### 三 研究の実際

(一) 学校保健に関する校内体制の充実

ア 校長の戦略

食物アレルギーへの対応については、全教職員間で共通理解

を図っているが、確実な予防と緊急時対応には苦慮している。

そこで、食物アレルギーに関する新たな課題にも対応できるようにするため、校内体制を見直し、改善・充実させる。

イ 取組（校内体制の確立）内容を招いた校内研修の実施  
・教職員によるエピペンの使用実習と法的根拠

・食物アレルギーの症状  
・エピペン使用に関する確認書の作成



エピペン使用実習

(二) アンケートから見える食育への取組

ア 校長の戦略

アンケート調査の結果、朝食を食べない児童や偏食の激しい児童、基本的な生活習慣が身につけていない児童がいる。

そこで、家庭に対して、食育に関する啓発を積極的に行うとともに、家庭を巻き込んだ食育の推進と基本的な生活習慣の定着を図る。

イ 取組内容

① 今日給食をホームページに掲載

② 食育に視点を当てた親子料理教室の開催

③ 「いきいき生活カード」を活用した基本的な生活習慣の定着

(三) 防災教育の充実

ア 校長の戦略

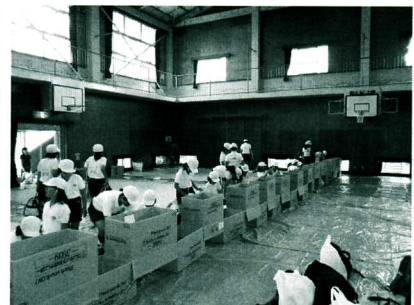
防災教育において、もつと心に響く実践的な取組がしたい。そこで、避難所生活体験等の体験活動を家庭・地域と連携して実施し、防災への正しい知識と実践的な行動を身に付けさせ、児童の命を守る。

イ 取組内容

① 子ども防災キャンプの開催

親父の会が中心となり、四年生以上の希望者により実施した。

② マニユアルの徹底理解



避難場所設営

### 四 校長の役割

(一) 自校の教育活動について、校長自らが問題意識・課題意識をもつ。

(二) 戦略的に構想を練る。

(三) リーダーシップを発揮し、組織を動かし、新たな目標を実現させる。

### 五 おわりに

学校教育目標を達成するためには、自校のよさや課題を日常的に把握することがとても重要である。この三事例は、確固たる校長の方針を描き、そして実践していくその取組を「校長の戦略」として表した。こうすることで、目的や方法がはっきりと見えてくるので、職員間の共通理解も得やすく、何よりも校長自身の考えが定まるところに研究の成果があると考ええる。

今後とも課題を明確にした上で、戦略的な取組を実践し、校長の役割を果たしていきたい。